

2022年  
4月

新コーナー  
「なす太郎のポイント指南」が  
はじまります！  
4月は拡大バージョンです。

なす栽培で  
+αの収入を  
目指しませんか？

JAひがしみのと東美濃夏秋なす  
生産協議会では、なす生産者を増や  
そうと、「なす生産拡大大作戦」に取り  
組んでいます。

今月からこの彩菜栽培のコーナーの  
一部で、なすの栽培技術について毎  
月お伝えしていきます。これを参考に、  
ぜひあなたもなす栽培で+αの収入  
を目指して大作戦に加わってみませ  
んか？栽培しているなすの品種が千  
両2号であれば、シーズンの途中か  
ら出荷することもできますよ。

このポイント指南のコーナーでは、  
東美濃夏秋なす生産協議会の原進会  
長に実際の畑の様子や手順の画像を  
提供していただき掲載していきます。

なす太郎の  
ポイント指南

今月は

「苗を植える圃場の準備」です。

なすは収穫期間が6月から11月と長いので、耕土は深く、  
排水のいい場所を選びましょう。

夏場には十分な水やりが必要です。近くに水源があると  
良いですね。

今月からなす太郎と一緒に  
なす栽培を簡単に紹介さ  
せていただきます。我が家  
のなすの成長と合わせてお  
伝えしていきます。よろし  
くお願いします。



東美濃夏秋なす生産協議会  
会長 原進さん



1 完熟たい肥(おかげ堆肥)やモミ殻  
燻炭などを散布。JAで土壌診断を受け、  
施肥設計をしてもらうと良いですよ。



2 管理機でしっかり耕起し、畝を作る。  
ロータリーを逆転位置にして土を跳  
ね上げ、畝を立てます。



3 畝全体の様子。畝は、なす栽培の  
最も大切な場所！できれば高さか  
30cm以上あると良いですね



4 出荷農家は本数が多いため灌水  
チューブを利用します。



5 マルチをかけ畝が完成!



1月の畑。  
今年は雪が多く寒かったですね…。



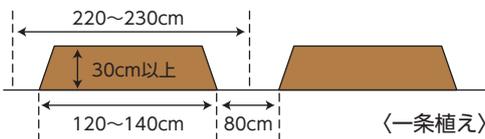
夏までにはこんなに成長します。  
頑張るぞ!

圃場準備が整いました。  
さあ来月はいよいよ  
苗の準備です!

こんにちは  
はじめまして!!  
ボク、なす太郎。  
一緒に美味しいなすを  
たくさん作ろうね!



「毎年、家庭菜園の  
なすが食べきれない」  
という人も、  
ぜひ出荷を考えてみてね!



なすの出荷に向けて新しく  
取り組む方は、1日1袋から  
でも出荷ができます。ぜひあ  
なたも+αの収入を目指して  
なすを作ってみませんか？

「出荷に挑戦してみたい」  
という方はぜひJAのアグリ  
センターにご相談。  
談ください。JA  
の営農指導員が  
畑に出向いて相  
談に応じます。

JAひがしみの 営農部  
Tel 0573-78-0137

